



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 中央化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7895 URL <https://www.chuo-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 康正  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 部長代行 (氏名) 三膳 一志 TEL 048-542-2511  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,036	△2.6	2,143	75.0	2,119	124.9	1,795	121.4
2020年3月期第3四半期	38,024	△7.6	1,224	40.3	942	61.8	811	△45.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,957百万円 (155.5%) 2020年3月期第3四半期 766百万円 (△52.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	89.13	70.51
2020年3月期第3四半期	40.26	31.85

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,533	8,622	23.0
2020年3月期	34,608	6,665	19.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,622百万円 2020年3月期 6,665百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,600	△0.9	1,800	62.5	1,700	126.3	1,400	192.2	69.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	21,040,000株	2020年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	891,140株	2020年3月期	891,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	20,148,860株	2020年3月期3Q	20,148,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の第一波、第二波以後、持ち直しの動きが見られたものの、昨年末にかけて再び感染拡大が深刻になり、足元では再び緊急事態宣言が発出される等、未だ先行きを見通せない状況が続いております。

当食品包装容器業界におきましては、G o T oキャンペーン等により、一部持ち直しの兆しはあったものの、イベント、外食、旅行、インバウンド等向け需要は総じて低調であった一方、テレワーク、オンライン会議の普及等、新しい働き方や消費行動の変化により、中食・内食向けは堅調に推移しており、特にテイクアウト、フードデリバリーが新しい生活様式に浸透しつつあります。

こうした中、「食」に関わる事業会社である当社は、事業戦略である「汎用容器事業の基盤強化」、「成長市場へのアプローチ」を推進すると共に、衛生・安全管理を徹底し、感染防止策に最善を尽くすと共に、製品の安定供給を果たしてまいりました。

日本に先立って感染拡大が深刻になった中国においても、感染防止策を徹底し、ライフスタイルの変化、環境意識の高まりに対応した製品の安定供給を続けております。

こうした活動の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が37,036百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益2,143百万円(前年同期比75.0%増)、経常利益2,119百万円(前年同期比124.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,795百万円(前年同期比121.4%増)となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

## (日本)

営業面では、消費行動の変化に伴い、テイクアウト・フードデリバリー用のワンプレート容器、スープ・ソース・タレ用のカップ・容器、自宅で楽しむ高級素材(寿司、フルーツ等)用の容器、健康志向を背景とする納豆容器が好調に推移しました。また、衛生面を重視することにより、介護施設や病院等で食品容器のワンウェイ化が進みました。

環境配慮型素材・製品の販売活動も加速しております。食品ロス削減に資するロングライフ容器「Ever Value」シリーズや、プラスチック資源循環をコンセプトとしたリサイクルPET素材「C-APG」、天然素材タルクを主原料とする環境配慮型素材「TALFA(タルファー)」を使用した製品が、お客様から好評を頂いております。

生産面では、感染防止策を徹底することに伴い、企業活動が制約されたことはありましたが、安全・品質・技術・原価の堅持・向上を図る活動に全社をあげて取り組んでまいりました。特に、企業活動の基盤は従業員の健康と安全であるとの方針の下、感染防止に細心の注意を払うと共に、労働災害撲滅に向けた安全活動を強化してまいりました。素材、製品開発体制を強化すべく、研究開発、製品設計、マーケティングの連携を強め、新素材「TALFA」や、バイオ成分を含有した「バイオCT」、「バイオCF」の開発に繋げてまいりました。

こうした営業、生産、技術面での施策に加え、原材料価格の低減、コストの削減等により、売上高は前年同期比減少となりましたが、利益率は改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は32,172百万円(前年同期比4.1%減)、営業利益は1,982百万円(前年同期比58.3%増)となりました。

## (アジア)

中国では、日本に先立って新型コロナウイルス感染拡大が深刻になり、全拠点において感染防止策を徹底し、安定操業を継続してまいりました。

3工場間最適生産体制、日本との協業を深め、競争力強化、生産性向上を果たすと共に、日本同様消費行動の変化に伴い生まれた新たな容器需要を取り込むことができました。

また、環境意識の高まり、中国政府からの指針等を踏まえ、環境配慮型素材・製品の開発を進めております。

この結果、当セグメントの売上高は5,375百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は542百万円(前年同期比64.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

資産は、商品及び製品の減少508百万円やリース資産の減少308百万円等があった一方、現金及び預金の増加1,502百万円や受取手形及び売掛金の増加2,469百万円等により、前連結会計年度末と比べ2,924百万円増加し37,533百万円となりました。

## (負債)

負債は、リース債務の減少374百万円等があった一方、電子記録債務の増加417百万円や1年内返済予定の長期借入金の増加464百万円、未払金の増加354百万円等により、前連結会計年度末に比べ967百万円増加し28,910百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,795百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,957百万円増加し8,622百万円となり、自己資本比率は23.0%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,336百万円となり前連結会計年度末に比べ1,496百万円の増加となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加2,376百万円等があった一方、税金等調整前四半期純利益2,112百万円や減価償却費1,458百万円、たな卸資産の減少655百万円、仕入債務の増加521百万円等があり、2,640百万円(前年同期比1,010百万円の増)の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出714百万円等があり、682百万円(前年同期比48百万円の減)の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入3,400百万円があった一方、長期借入金の返済による支出3,187百万円やリース債務の返済による支出705百万円があり、493百万円(前年同期比1,197百万円の減)の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月10日の「2021年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,845	4,348
受取手形及び売掛金	7,360	9,830
商品及び製品	4,897	4,388
仕掛品	713	607
原材料及び貯蔵品	1,168	1,175
その他	1,498	1,506
貸倒引当金	△16	△21
流動資産合計	18,468	21,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,011	4,920
機械装置及び運搬具(純額)	2,713	2,627
土地	4,290	4,225
リース資産(純額)	2,508	2,210
建設仮勘定	142	241
その他(純額)	461	436
有形固定資産合計	15,127	14,661
無形固定資産		
リース資産	51	41
その他	334	321
無形固定資産合計	385	362
投資その他の資産		
投資有価証券	268	297
長期貸付金	150	143
破産更生債権等	11	12
繰延税金資産	80	85
その他	288	301
貸倒引当金	△172	△166
投資その他の資産合計	626	673
固定資産合計	16,140	15,697
資産合計	34,608	37,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,962	6,189
電子記録債務	1,862	2,279
短期借入金	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	3,995	4,459
リース債務	1,006	767
未払金	1,971	2,325
未払法人税等	163	187
未払消費税等	277	440
賞与引当金	271	132
資産除去債務	11	11
その他	602	791
流動負債合計	21,126	22,585
固定負債		
長期借入金	3,350	3,098
リース債務	2,000	1,865
役員退職慰労引当金	38	45
退職給付に係る負債	886	784
債務保証損失引当金	9	9
資産除去債務	8	8
その他	524	514
固定負債合計	6,817	6,324
負債合計	27,943	28,910
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,212	7,212
資本剰余金	6,787	6,787
利益剰余金	△6,402	△4,607
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	6,427	8,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	53
繰延ヘッジ損益	2	△4
為替換算調整勘定	519	604
退職給付に係る調整累計額	△318	△254
その他の包括利益累計額合計	237	399
純資産合計	6,665	8,622
負債純資産合計	34,608	37,533

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	38,024	37,036
売上原価	28,474	26,754
売上総利益	9,550	10,282
販売費及び一般管理費	8,325	8,138
営業利益	1,224	2,143
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	9	14
受取賃貸料	28	27
為替差益	—	54
持分法による投資利益	31	29
その他	109	64
営業外収益合計	192	204
営業外費用		
支払利息	127	118
手形売却損	30	24
売上割引	29	29
為替差損	178	—
その他	109	56
営業外費用合計	475	229
経常利益	942	2,119
特別利益		
固定資産売却益	1	5
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	1	6
特別損失		
固定資産除売却損	10	13
特別損失合計	10	13
税金等調整前四半期純利益	933	2,112
法人税、住民税及び事業税	127	321
法人税等調整額	△4	△5
法人税等合計	122	316
四半期純利益	811	1,795
親会社株主に帰属する四半期純利益	811	1,795



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	811	1,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	18
繰延ヘッジ損益	2	△6
為替換算調整勘定	△113	84
退職給付に係る調整額	65	64
その他の包括利益	△44	161
四半期包括利益	766	1,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	766	1,957

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	933	2,112
減価償却費	1,694	1,458
持分法による投資損益 (△は益)	△31	△29
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△46	△38
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6	6
受取利息及び受取配当金	△23	△27
支払利息	127	118
為替差損益 (△は益)	62	△44
有形固定資産除却損	8	13
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△5
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,662	△2,376
たな卸資産の増減額 (△は増加)	801	655
仕入債務の増減額 (△は減少)	△698	521
未払消費税等の増減額 (△は減少)	97	162
その他	500	461
小計	1,777	2,987
利息及び配当金の受取額	23	27
利息の支払額	△125	△112
法人税等の支払額	△46	△261
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,629	2,640
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△659	△714
定期預金の預入による支出	△18	△18
定期預金の払戻による収入	12	12
有価証券の取得による支出	△678	—
有価証券の売却による収入	678	—
固定資産の売却による収入	0	71
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
投資有価証券の売却による収入	—	6
貸付金の回収による収入	3	—
その他	△60	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△730	△682
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,000	—
長期借入れによる収入	4,300	3,400
長期借入金の返済による支出	△2,066	△3,187
リース債務の返済による支出	△923	△705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,690	△493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△876	1,496
現金及び現金同等物の期首残高	3,661	2,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,785	4,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、前連結会計年度から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,437	4,586	38,024	—	38,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	110	477	588	△588	—
計	33,548	5,064	38,613	△588	38,024
セグメント利益	1,252	329	1,582	△357	1,224

(注) 1. セグメント利益の調整額△357百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,108	4,928	37,036	—	37,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	64	447	511	△511	—
計	32,172	5,375	37,548	△511	37,036
セグメント利益	1,982	542	2,524	△381	2,143

(注) 1. セグメント利益の調整額△381百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。